



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 寺下 和良 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	198,559	10.1	32,483	22.4	34,762	51.1	22,429	45.0
29年3月期第2四半期	180,310	△6.1	26,530	△21.8	23,002	△31.7	15,464	22.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 30,410百万円(685.5%) 29年3月期第2四半期 3,871百万円(7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	105.76	—
29年3月期第2四半期	71.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	592,890	379,536	63.6
29年3月期	563,801	354,710	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 377,063百万円 29年3月期 352,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	408,200	9.5	66,400	23.9	70,500	26.9	47,000	83.6	221.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	212,544,820株	29年3月期	223,544,820株
30年3月期2Q	754,307株	29年3月期	11,320,756株
30年3月期2Q	212,079,554株	29年3月期2Q	216,475,549株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、当第2四半期連結会計期間より役員報酬 BIP 信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

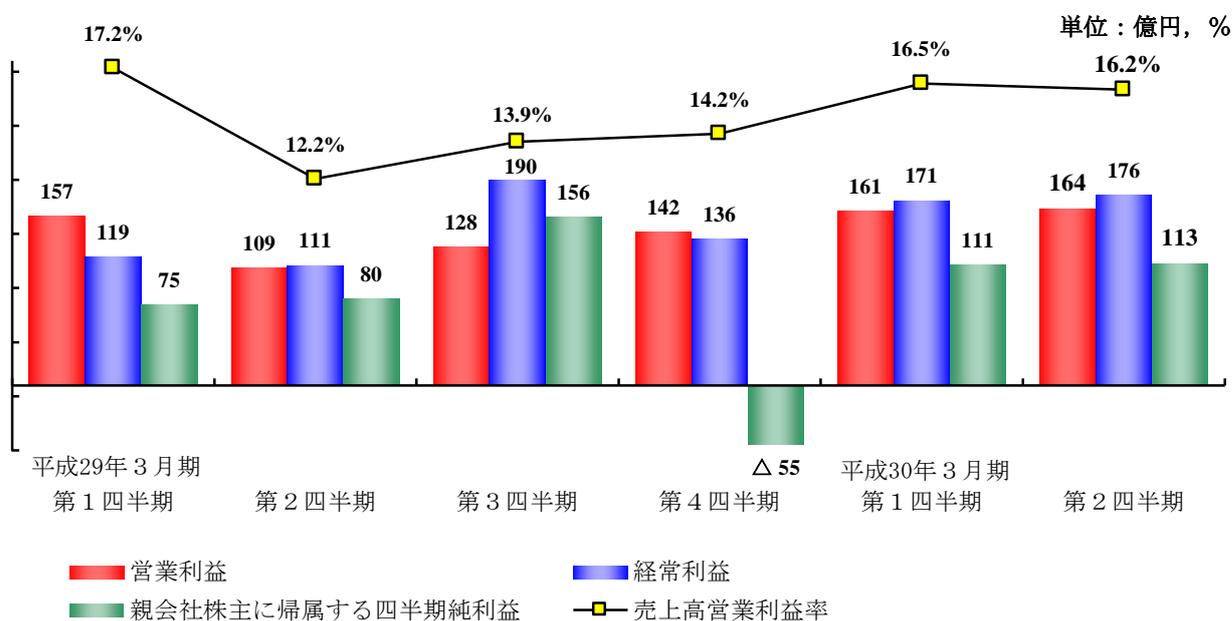
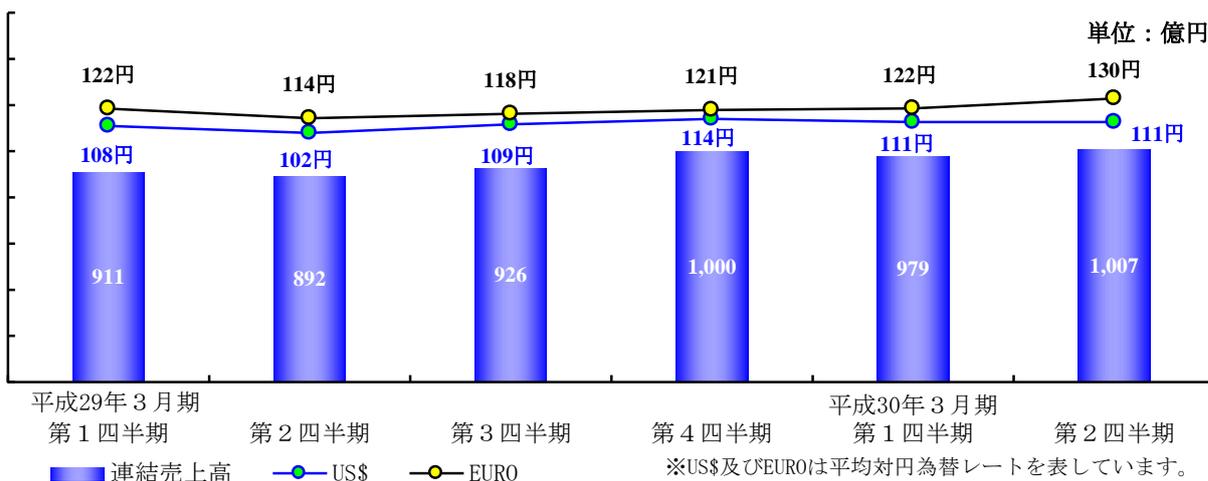
(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、米国においては内外の需要の回復に支えられ企業収益は改善するとともに、雇用の改善も続き、個人消費は底堅く推移しました。欧州においては製造業での輸出の増加が下支えとなり景気は緩やかな回復が持続する一方で、賃金の伸び悩みや物価上昇が個人消費の重荷になっています。中国においては国有企業の設備投資が鈍化し、個人消費の持ち直しも一巡したことから景気に減速の兆しが見られます。わが国経済においては製造業での生産増加とそれに伴う輸出の増加等から企業収益は内外の需要に支えられ景況感は改善、これに伴い個人消費も回復傾向が持続しています。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、米国においては安定した労働環境、低金利、安いガソリン価格等販売を後押しする環境はあるものの、全体としては前年度と比べ減少しています。中国においてはこの第2四半期で持ち直し、自動車販売台数は前年度と比べ上回っています。わが国の自動車販売台数も堅調に推移し、前年度と比べ上回る結果となっています。

また、半導体業界においては、ハイエンドスマートフォンや中国メーカー製スマートフォンの生産が好調です。また、スマートフォンの高性能化等から半導体メモリやセンサ類の需要が拡大し、半導体市場を牽引しています。

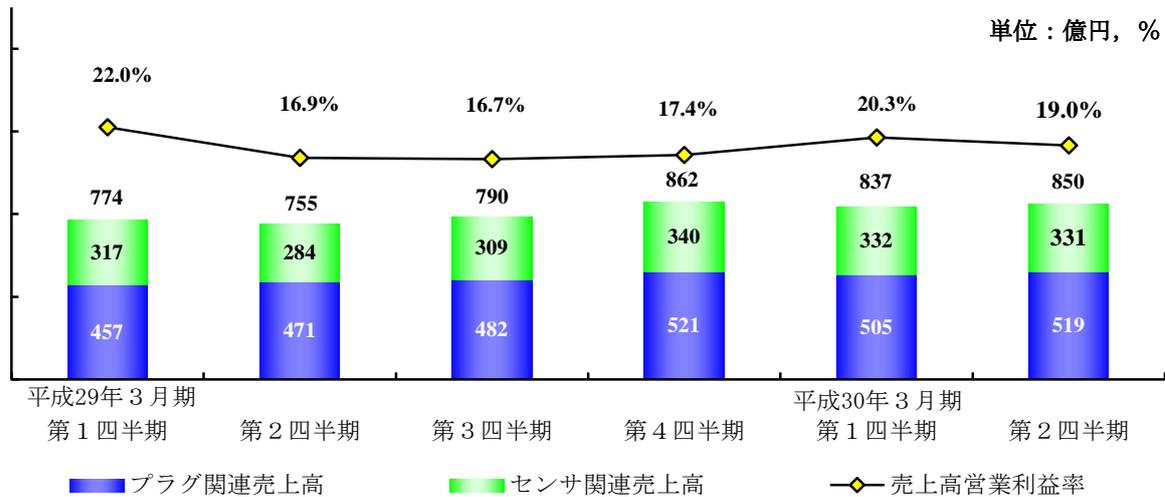
このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は1,985億59百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益324億83百万円(前年同期比22.4%増)、経常利益347億62百万円(前年同期比51.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は224億29百万円(前年同期比45.0%増)となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、北米においては前年を下回っているものの、中国を始めとした好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。また、補修用製品の販売も、中国市場及びASEAN地域での好調な販売を受け堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,687億43百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は332億4百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

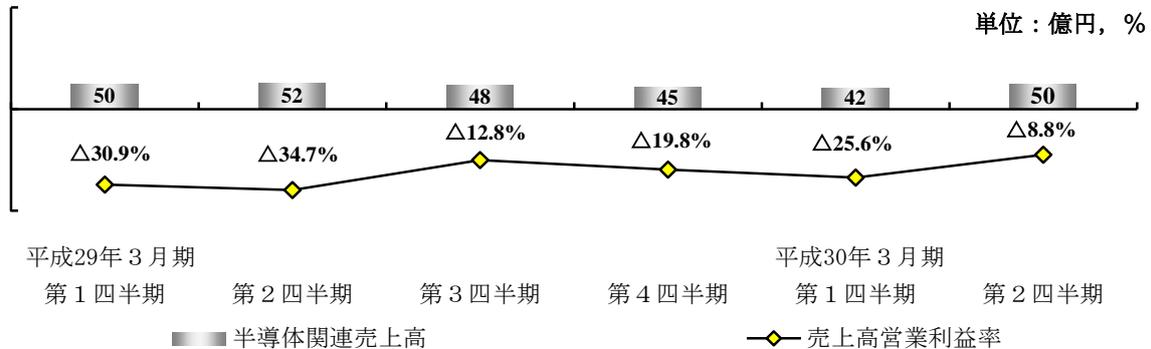


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、不採算製品の撤退を進めており、全体としては前年度に比べ減収となっていますが、スマートフォン向け部品等の出荷が伸びたことと、拠点の集約による生産性の向上により前年度に比べ収益が改善しました。

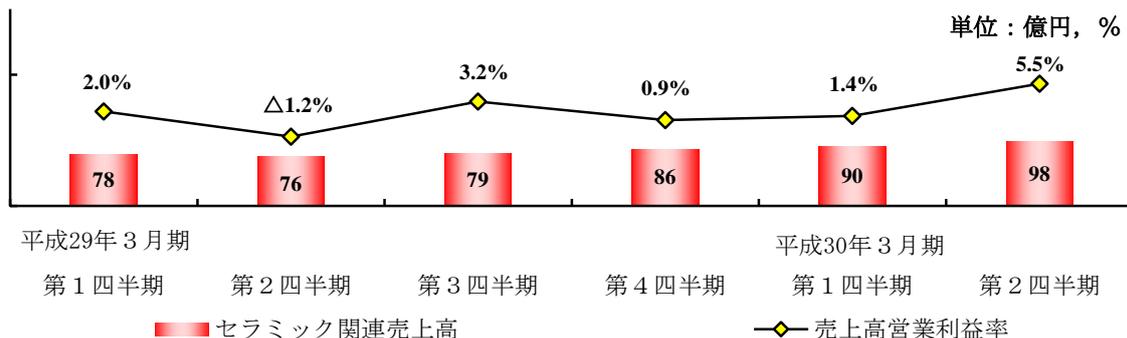
この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は91億48百万円（前年同期比10.2%減）、営業損失は15億3百万円（前年同期は33億43百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向け及び産業機器向けの出荷は堅調に推移しました。特に半導体製造装置用部品の出荷が伸びたことが売上高の増加要因となっています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は188億10百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益は6億72百万円（前年同期比940.7%増）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期第2四半期	327,434	265,455	592,890	213,354	379,536
29年3月期	306,570	257,230	563,801	209,091	354,710

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末比290億89百万円増加の5,928億90百万円となりました。これは、主としてたな卸資産が増加したこと及び設備投資により有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比42億63百万円増加の2,133億54百万円となりました。これは、主として未払法人税等の増加によるものです。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末比248億25百万円増加の3,795億36百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期第2四半期	25,794	△13,640	△5,709	73,895
29年3月期第2四半期	28,812	△32,094	△3,669	60,582

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比30億17百万円減少の257億94百万円となりました。これは、主として法人税等の支払額の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比184億54百万円減少の136億40百万円となりました。これは、主として前年同期は新規に持分法を適用した関連会社株式の取得があったことや、満期を迎えた有価証券の償還が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比20億39百万円増加の57億9百万円となりました。これは、主として前年同期は長期借入れによる収入があったことによるものです。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額16億30百万円を加算した純額で80億75百万円増加し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額2百万円も加味した結果、738億95百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成30年3月期の予想)

	自動車連 自 関 連		テクニカルセラミックス関連		そ の 他		連 結			
			半 導 体 関 連	セ ラ ミ ッ ク 関 連						
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
売上高	344,790	(8.4)	18,747	(△3.6)	40,929	(28.5)	3,734	(7.8)	408,200	(9.5)
営業利益	67,007	(15.6)	△2,784	(-)	2,089	(421.6)	88	(79.5)	66,400	(23.9)
経常利益									70,500	(26.9)
親会社株主に帰属する当期純利益									47,000	(83.6)
減価償却費	17,151		662		2,627		10		20,450	
設備投資額	28,951		3,206		5,843		0		38,000	

(注) 1 下期想定為替レート 1 US \$ = 108 円、1 EURO = 128 円

2 括弧内の数値は、対前期増減率を表します。

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので上記の通り修正します。なお、業績見通しにおける下期の為替レートは、1 US \$ = 108 円、1 EURO = 128 円を前提とします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,733	46,124
受取手形及び売掛金	91,594	96,214
有価証券	57,210	62,229
たな卸資産	86,857	94,075
繰延税金資産	11,023	12,253
その他	14,614	17,032
貸倒引当金	△463	△495
流動資産合計	306,570	327,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,400	64,430
機械装置及び運搬具（純額）	86,358	89,841
土地	19,659	19,923
建設仮勘定	9,726	9,674
その他（純額）	3,156	3,564
有形固定資産合計	181,302	187,434
無形固定資産		
のれん	460	384
ソフトウェア	4,005	4,165
その他	234	244
無形固定資産合計	4,701	4,793
投資その他の資産		
投資有価証券	68,252	70,551
繰延税金資産	1,496	1,443
その他	2,000	1,350
貸倒引当金	△523	△117
投資その他の資産合計	71,226	73,227
固定資産合計	257,230	265,455
資産合計	563,801	592,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,045	30,272
短期借入金	11,259	11,280
1年内償還予定の社債	—	25,000
1年内返済予定の長期借入金	—	5,000
リース債務	87	41
未払法人税等	7,697	11,287
その他	36,486	35,025
流動負債合計	85,577	117,907
固定負債		
社債	55,000	30,000
長期借入金	32,848	27,848
リース債務	80	100
退職給付に係る負債	29,263	29,079
繰延税金負債	5,324	7,328
その他	998	1,090
固定負債合計	123,514	95,447
負債合計	209,091	213,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,825	54,824
利益剰余金	262,010	262,834
自己株式	△17,649	△1,420
株主資本合計	347,056	364,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,580	30,437
為替換算調整勘定	△16,527	△12,290
退職給付に係る調整累計額	△5,804	△5,192
その他の包括利益累計額合計	5,249	12,954
非支配株主持分	2,404	2,472
純資産合計	354,710	379,536
負債純資産合計	563,801	592,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	180,310	198,559
売上原価	119,979	130,365
売上総利益	60,331	68,193
販売費及び一般管理費	33,800	35,710
営業利益	26,530	32,483
営業外収益		
受取利息	514	608
受取配当金	682	714
持分法による投資利益	270	200
為替差益	—	576
その他	604	780
営業外収益合計	2,072	2,880
営業外費用		
支払利息	154	233
為替差損	4,855	—
休止固定資産減価償却費	99	—
その他	492	368
営業外費用合計	5,601	601
経常利益	23,002	34,762
特別利益		
固定資産売却益	81	21
特別利益合計	81	21
特別損失		
固定資産処分損	487	744
投資有価証券評価損	74	—
和解金	—	1,891
特別損失合計	561	2,636
税金等調整前四半期純利益	22,522	32,147
法人税、住民税及び事業税	4,302	10,176
法人税等調整額	2,555	△665
法人税等合計	6,858	9,511
四半期純利益	15,663	22,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	199	206
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,464	22,429

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	15,663	22,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△404	2,857
為替換算調整勘定	△11,704	4,385
退職給付に係る調整額	744	609
持分法適用会社に対する持分相当額	△428	△77
その他の包括利益合計	△11,792	7,774
四半期包括利益	3,871	30,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,889	30,134
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	275

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,522	32,147
減価償却費	9,372	10,080
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	474	645
受取利息及び受取配当金	△1,197	△1,323
支払利息	154	233
持分法による投資損益(△は益)	△270	△200
固定資産処分損益(△は益)	405	722
投資有価証券評価損益(△は益)	74	—
売上債権の増減額(△は増加)	△7,586	△829
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,530	△4,648
仕入債務の増減額(△は減少)	6,488	△3,565
その他	1,909	△1,130
小計	27,816	32,132
利息及び配当金の受取額	1,155	1,569
利息の支払額	△143	△235
法人税等の支払額	△15	△7,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,812	25,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△665	△113
有価証券の純増減額(△は増加)	△4,249	4,901
有形固定資産の取得による支出	△19,045	△18,368
無形固定資産の取得による支出	△665	△605
投資有価証券の取得による支出	△7,632	△279
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	11
その他	162	813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,094	△13,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,148	△32
長期借入れによる収入	8,000	—
自己株式の取得による支出	△7,341	△920
配当金の支払額	△4,570	△4,457
その他	△2,904	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,669	△5,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,620	1,630
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,572	8,075
現金及び現金同等物の期首残高	71,155	65,817
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,582	73,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成 29 年 7 月 31 日開催の取締役会決議に基づき、平成 29 年 8 月 7 日付で 1,100 万株の自己株式の消却を実施しました。これにより、自己株式が 17,149 百万円、資本剰余金及び利益剰余金が 17,149 百万円減少しています。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。今後、新たな事実が判明した場合は追加の損失が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難です。

(セグメント情報)

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 9 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報 告 セ グ メ ン ト				計	そ の 他 (注) 1	合 計	調 整 額	四半期連結 損益計算書 計 上 額 (注) 2
	自 動 車 関 連	テ ク ニ カ ル セ ラ ミ ッ ク ス 関 連 半 導 体	セ ラ ミ ッ ク	計					
売上高									
外部顧客への売上高	152,932	10,188	15,353	25,541	178,474	1,836	180,310	—	180,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	152,932	10,188	15,353	25,541	178,474	1,836	180,310	—	180,310
セグメント利益 又は損失(△)	29,837	△3,343	64	△3,278	26,559	△28	26,530	—	26,530

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミックス セラミック	関連 計					
売上高									
外部顧客への売上高	168,743	9,148	18,810	27,958	196,701	1,857	198,559	—	198,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	168,743	9,148	18,810	27,958	196,701	1,857	198,559	—	198,559
セグメント利益 又は損失(△)	33,204	△1,503	672	△831	32,373	109	32,483	—	32,483

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算概要 (連結)

1. 当第 2 四半期累計の業績及び通期の見通し

(単位 百万円、%)

	前第 2 四半期	当第 2 四半期	(増減額)	(増減率)	前 期	通 期 予 想	(増減額)	(増減率)
プラグ	92,770	102,493	9,723	10.5%	193,074	206,265	13,190	6.8%
センサ	60,161	66,249	6,087	10.1%	125,075	138,525	13,449	10.8%
自動車関連	152,932	168,743	15,810	10.3%	318,149	344,790	26,640	8.4%
半導体	10,188	9,148	△1,040	△10.2%	19,449	18,747	△702	△3.6%
セラミック	15,353	18,810	3,457	22.5%	31,855	40,929	9,073	28.5%
テクニカル セラミックス関連	25,541	27,958	2,416	9.5%	51,305	59,676	8,370	16.3%
その他	1,836	1,857	21	1.1%	3,464	3,734	269	7.8%
売上高	180,310	198,559	18,248	10.1%	372,919	408,200	35,280	9.5%
自動車関連	29,837	33,204	3,366	11.3%	57,988	67,007	9,018	15.6%
半導体	△3,343	△1,503	1,840	—	△4,842	△2,784	2,058	—
セラミック	64	672	607	940.7%	400	2,089	1,688	421.6%
テクニカル セラミックス関連	△3,278	△831	2,447	—	△4,441	△695	3,746	—
その他	△28	109	137	—	49	88	38	79.5%
営業利益	26,530	32,483	5,952	22.4%	53,595	66,400	12,804	23.9%
経常利益	23,002	34,762	11,760	51.1%	55,559	70,500	14,940	26.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	15,464	22,429	6,964	45.0%	25,602	47,000	21,397	83.6%
1株当たり情報(円)								
四半期(当期)純利益	71円44銭	105円76銭			119円44銭	221円92銭		
中間(年間)配当金	21円00銭	30円00銭			42円00銭	60円00銭		
各種指標 (%)								
売上高営業利益率	14.7%	16.4%			14.4%	16.3%		
ROE	—	—			7.4%	12.6%		
ROIC	—	—			9.1%	9.8%		
配当性向	—	—			35.2%	27.0%		
為替レート(円)								
US\$	105円	111円			108円	110円 (※108円)		
EURO	118円	126円			119円	127円 (※128円)		

※ 為替レートにおける通期予想括弧内は下期の想定為替レートを表しています。

イ. 当第 2 四半期累計の業績

- 自動車関連事業においては、北米においては前年を下回っているものの、中国を始めとした好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。また、補修用製品の販売も、中国市場及び A S E A N 地域での好調な販売を受け堅調に推移しました。
- テクニカルセラミックス関連事業においては、半導体関連は不採算製品の撤退により全体としては減収となっていますが、スマートフォン向け部品等の出荷が伸びたことと、拠点の集約による生産性の向上により前年度に比べ収益が改善しました。セラミック関連は半導体製造装置用部品の出荷が伸びたことが売上高の増加要因となっています。

ロ. 通期の見通し

- 年度後半は、為替相場における円安基調より為替レート 1 US\$=108 円、1 EURO=128 円を前提として予想しています。

2. 設備投資額及び減価償却費

(単位 百万円)

	前 期	通 期 予 想	(増減額)
自動車関連	27,577	28,951	1,373
テクニカルセラミックス関連	8,747	9,049	301
その他	2	0	△2
設備投資額	36,328	38,000	1,671
自動車関連	17,158	17,151	△7
テクニカルセラミックス関連	2,431	3,289	857
その他	10	10	0
減価償却費	19,601	20,450	848

3. キャッシュ・フロー

(単位 百万円)

	前第 2 四半期	当第 2 四半期	(増減額)
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,812	25,794	△3,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,094	△13,640	18,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,669	△5,709	△2,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,582	73,895	13,313